

平成19年度第2回秦野市入札監視委員会議事概要

日 時	平成19年11月5日(月) 午後2時00分から4時50分まで
場 所	秦野市役所 本庁舎3階 3A会議室
出席者	(委 員) 石田委員長、荒川委員、石島委員、内山委員、遠藤委員
	(事務局) 古谷市長、石垣財務部長、芦川契約課長、三竹契約班主幹 飯沼主査、猪野主任主事

抽出案件一覧表

業 種	執行方法	案件番号	案 件 名
工 事	条件付き一般競争 (電子入札)	30	平成19年度 南小学校校庭整備工事
		31	平成19年度 北中学校校庭整備工事
		32	平成19年度 南が丘中学校校庭整備工事
		37	平成19年度 大根小学校校庭整備工事
	1者随意契約	1	平成19年度 第1号公共下水道大根・鶴巻処理区枝線整備(南矢名6工区)及び東海大学駅前南口公衆便所給水管布設工事
コンサル タント	条件付き一般競争 (電子入札)	13	平成19年度 第1号公共下水道大根・鶴巻処理区枝線整備実施設計委託業務
委 託	指名競争	7	平成19年度 秦野市消防庁舎清掃委託業務(その2)
		25	平成19年度 秦野市立保育所給食調理室グリストラップ点検清掃業務委託
物 品	指名競争	43	平成19年度 下水道施設課用薬品の単価(滅菌用次亜塩素酸ソーダほか2点)
		44	平成19年度 下水道施設課用薬品の単価(高分子有機凝集剤)
		45	平成19年度 下水道施設課用薬品の単価(即効性汚泥消臭剤ほか1点)
		46	平成19年度 下水道施設課用薬品の単価(液体硫酸バンド)
		47	平成19年度 水道用滅菌薬品の単価(次亜塩素酸ナトリウム)
		48	平成19年度 貯蔵量水器単価契約
		51	平成19年度 下水道施設課用消耗品(汚泥脱水機用ろ布)

[議事概要]

1 抽出案件の審議

質 問	回 答
<p>1 工事の条件付き一般競争入札案件について (案件番号30・31・32・37番)</p> <p>参加者数が少ない理由は</p> <p>同種工事で、落札率が高い理由は</p> <p>参加可能な市内業者数は</p> <p>過去も同じ様な参加者数だったのか</p> <p>入札辞退者については、どのような理由が考えられるか</p> <p>下請けの制限はあるか (まる投げの確認など)</p>	<p>工事内容に専門的(スポーツ土木)な部分を含むため、参加者数が少なくなっていると考えられます。</p> <p>一般的な土木工事として発注しているが、専門業者に下請けしている状況が見られることから、落札率が高くなっていると思われます。</p> <p>土木一式に登録のある者のうち47社です。</p> <p>昨年の入札制度改善前までは、指名競争入札でしたので、8社程度でした。</p> <p>案件を公告してから、競争参加資格確認申請期間が、3日と短いため、公告後に積算して入札するか、しないかの判断をすることや、その間に他市等の工事を受注して、技術者がいなくなった等の理由が考えられます。</p> <p>施工体制の中で、下請負人編成表の提出を求めています。下請け制限のある工事もありますので、内容によっては、工事検査の点数にも影響します。</p>
<p>(委員意見等)</p> <p>市内業者の保護、育成のための条件設定であることは理解するが、今後も入札参加者が少なく、落札率も高い傾向が続くようであれば、見直す必要がある。</p> <p>変動型の制度を悪用する者がいるため、内訳書により後追いチェックをしているとの情報もある。</p>	
<p>2 工事の1者随意契約案件について (案件番号1番)</p> <p>1者随意契約の理由は</p> <p>高落札率の原因は何か</p> <p>予定価格の事前公表はあるのか</p>	<p>本工事は、県が発注した東海大学前駅の駅前広場整備工事と場所及び工期が重複しているためです。</p> <p>重複工事であるため、設計時に削減できる経費等については積算しないので、見かけの落札率が高いと考えられます。</p> <p>予定価格は非公表です。</p>
<p>(委員意見等)</p> <p>市は、不要な経費を削減した設計により予定価格を設定し、逆に業者は有利となるように入札するので、見かけの落札率が高くなるのは、やむを得ない。それよりも、市が設計をしっかりとやっているのをどう担保するかが重要と考える。</p>	

質 問	回 答
<p>3 コンサルタント案件について (案件番号13番)</p> <p>落札率が極端に低くなっているが、設計金額の妥当性はどうか</p> <p>参加業者の中に市内業者はいるか</p> <p>落札率が低いことにより、業務に影響は出ているか</p>	<p>標準単価があり、それで設計しております。 設計業務については、業種により得手、不得手があり参加業者も多く競争が激しいこと、人件費等の経費を削って入札してきているものと考えています。</p> <p>市内業者は、いません。</p> <p>まだ工期中ですが、特に問題があるとは聞いておりません。</p>
<p>4 委託案件について (案件番号7・25番)</p> <p>高落札率の原因は何か</p> <p>予定価格は公表しているか</p>	<p>予算編成にあたり過去の実績も重視されること、また、清掃委託業務については、業務内容が大きく変わるものでないことから、過去の実績から類推され易いことが考えられます。</p> <p>委託案件は、非公表です。</p>
<p>(委員意見等)</p> <p>業務の内容によっては、実績のある業者の方がよい場合があるのではないかと、すべてが金額だけの入札だけでなくともいいと思う。今後、価格競争のみではない業者決定の方法も確立すべきである。</p>	
<p>5 物品案件について</p> <p>高落札率の原因は何か (案件番号43・44・45・46・47・48番)</p> <p>低落札率の原因は何か (案件番号51番)</p> <p>参加業者がほとんど同じ理由は</p>	<p>毎年行う単価契約案件であり、薬剤については、値崩れが起きにくく、また、予算的にも抑えられているために落札率が高くなっていると考えられます。</p> <p>これまで1品指定としていたものを今年度から、使用できる品目が2つとなったことにより、競争が生じたために落札率が下がったと考えられます。</p> <p>県内の登録業者の中で、納品実績を重視しています。 来年度からは、条件付き一般競争入札となるので、改善されると思います。</p>

2 その他の質問事項

質 問	回 答
<p>市内の本店事業者数、市内営業所の事業者数、県内本店又は営業所の事業者数を把握しているか</p> <p>条件付き一般競争入札実施要綱第7条4の「正当な理由なく落札候補者としての地位を辞退したときは、同一の公告によるすべての工事の入札について、その者を失格とする」は、機能しているか</p> <p>工事関係変更契約事務の専決区分の特例的取扱いに関する基準2(3)「設計金額に関する取扱いは、実際どの程度使用されるのかを確認するため、完工した工事の金額を教えてください</p>	<p>随時申請に伴う入札参加資格認定を毎月1日付けで行うと同時に事業者数の把握を行っています。</p> <p>このケースとしては、後続の入札番号の工事を落札したために辞退する、積算ミスにより入札金額で請負う事が出来ない等が想定されますが、このような場合は、その後の入札の失格のみならず、指名停止措置の対象となります。該当する案件は、まだありません。</p> <p>変更契約を行い完工している案件は2件ありますが、特例的取扱いの該当する案件は、まだありません。</p>

3 入札・契約事務の運用について

平成19年10月1日から、全ての入札案件を電子入札による執行に移行しました。

4 その他

次回会議開催予定は、平成20年2月4日(月)午後2時からとします。